

仁尾交差点の交通事故抑止対策について

仁尾交差点で交通事故が多発しています。

ここで注意していただきたいのが、ここ2年半の間に発生した人身事故3件の全てが、物損事故の約8割が信号無視を原因としており、そのほとんどが吉津峠から進行してくる車両の信号無視による、交差点での出会い頭の事故ということです。

他の交差点に比べて、仁尾交差点だけが信号無視の事故が多発しているのは、

- ・西側の信号交差点が近すぎるために、先の信号に意識を向けてしまうこと
- ・吉津峠からの下りカーブの先に交差点があるために、信号の確認が遅れること
- ・南北からの交差点の見通しが悪いために、左右の確認ができないこと

が原因だと考えられます。

信号機自体が交通事故を誘発している可能性があるため、現在の信号機を三色運用から赤色点滅と黄色点滅に切替え、南北の車が交差点で常に一時停止するような環境を試験的に作ろうと思います。

交差点の通行方法を変更した結果、事故抑止効果が認められるのであれば、今後は、点滅式信号機よりも事故抑止効果の高い一時停止規制を導入しようと考えています。

○試験運用日

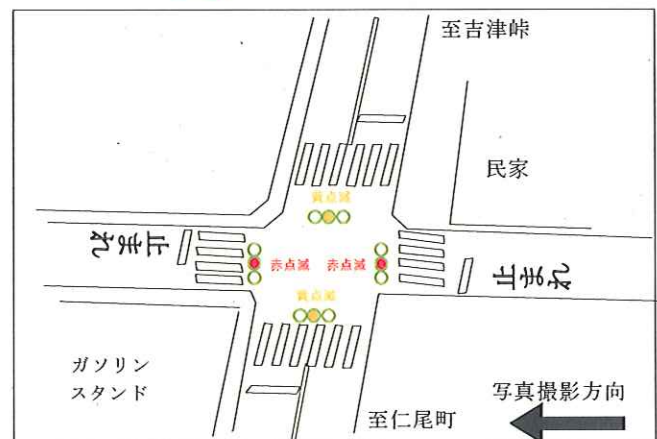
令和元年度中に開始予定(しばらくの間)

○イメージ図

現在



南北道路を赤色点滅、東西道路を黄色点滅



「止まれ」を新設